

私たちも
ほらぐちさんを
応援します



▼今、「労働者が社会の主人公」だと言い切る政党があるでしょうか？議員が主役で労働者は一票。選挙の時は福祉を語り、労働者の現実とは切り離されて議会内で「いい事」ばかりが語られる。田中前区長は「特養1000床増床」を達成したと言ったが、実際には働き手がいなくてフル稼働などできていません。

▼私の職場では「いくら働いても、値上げ値上げで生活できない。おかしくありませんか？」と声があがっています。今を生きる労働者と同じ目線で怒り、共に闘う政治家が必要です。洞口さんの2期目に大いに期待し、心から応援します。

狩野れい子（介護労働者 浴風会労働組合副委員長 久我山在住）

▼給料は変わらず、電気・ガス代・食費は値上がり。なのに軍事費2倍化への増税。私たちからむしり取ったカネで軍需産業はウハウハだ。

▼「自衛」「抑止」？ そんなの嘘だ。「軍隊は国民を守らない」、これが戦争の現実。だまされるな。資本のための政府にNOを！ デモ、SNS、選挙、なんでもやろう。杉並には「ほらぐち」という選択肢がある。

森川文人（弁護士「改憲・戦争阻止！大行進」呼びかけ人）



ほらぐち ともこ

杉並区議会議員
洞口 朋子



1期4年間、既成政党の駆け引きや忖度が渦巻く杉並区議会の中で、戦争と原発に絶対反対を貫き労働者・住民の立場で闘ってきました。この闘いをもっと大きくするために2期目に挑戦します！ぜひご支援をよろしく願います！

若者・女性・働く者の力で 新しい党をつくらう！

ほらぐちともこ プロフィール

1988年 宮城県仙台市生まれ。
2003年 イラク戦争。石油のために子どもたちが殺されていくことに我慢できず、中学2年生で反戦デモに参加。



2008年 法政大学に入学。反戦運動や自治会運動の先頭に。

2019年4月 「若者の声を杉並から」を掲げて杉並区議会議員選挙に立候補、3275票を獲得して初当選。阿佐ヶ谷再開発や児童館つぶしなどに反対して住民や現場労働者とともに活動。
2022年3月 ロシア非難決議案に反対し、「ロシアもNATOもウクライナ戦争をやめろ」と訴える。また、安倍「国葬」反対デモを闘った。
2022年12月 軍事費2倍化反対署名に取り組む。



ほらぐちともこは
長谷川英憲（元都議）
北島邦彦（元区議）
を引き継いで
2期目に挑戦します。

杉並から戦争を止めよう！

杉並区は自衛官募集業務を 全面的に拒否すべきです

防衛省は2月21日、自衛隊の人材確保のための「有識者会議」を立ち上げ、夏までに提言を出すと発表しました。国は、若者を自衛隊に勧誘しようと必死になっています。こうした中で自治体の「自衛官募集業務」がエスカレートしています。杉並区では専用名簿を作成して自衛隊に閲覧させています。対象は主に18歳と22歳、15歳の名簿も見せています。板橋区と渋谷区では名簿の提供に踏み込んでいます。新たな徴兵がもう始まっています。ほらぐちともこは、「南西諸島を戦場にするな！」と訴える沖縄の島々の人々と連帯して闘います。

軍事費2倍化反対署名 政府に提出しました



2月24日、軍事費の2倍化に反対する署名4156筆分を政府に提出しました（写真は首相官邸前）

ウクライナをこれ以上 戦場にするな！ 米日の対中国戦争 絶対反対！

4月23日 杉並区議会議員 選挙

4月16日告示
17日から期日前投票

ほらぐち ともこ（洞口 朋子） 杉並区議会議員 都政を革新する会
区民生活委員会／文化芸術・スポーツ・まちのにぎわいに関する特別委員会

〈上高井戸事務所〉〒168-0074杉並区上高井戸1-32-40

〈阿佐ヶ谷事務所〉〒166-0015杉並区成田東5-39-11 ビジネスハイツ阿佐ヶ谷603

TEL&FAX.03-3329-8813（都政を革新する会） メール info@horaguchitomoko.jp

ホームページ https://horaguchitomoko.jp ツイッター @HoraguchiTomoko →

内部討議資料 2023年3月



若者・女性・働く者の力で社会を変える

- ▼あいまいな「ジェンダー平等」や一握りのための「女性活躍」という欺まんの立場ではなく、非正規職や家庭内で苦しむすべての青年・女性と共に闘う立場に立つほらぐちさん。
- ▼女性の活動家が特に右翼&国家権力からの攻撃（セクハラも）の的になる中で、仁王立ちで闘う全学連の先輩・ほらぐちさんの2期目挑戦を全力で応援します！

矢嶋 尋 全学連副委員長（学習院大学）



児童館廃止と保育園民営化に反対

労働者を使い捨てる会計年度任用職員制度は廃止

- 児童館は子どもの命と成長を守る場所。区直営の児童館が閉鎖され、業務が民間委託されれば、労働者の非正規職化がいつそう強行されます。
- 「1年毎にクビを切られる」会計年度任用職員制度はやめるべきです。

- ▼子どもたちの命と安全を守る児童館も、民営化・非正規化によって、事故多発、労働強化、パワハラ：現場に矛盾が集中しています。また、戦争阻止は、住民の命を守る自治体としての正面課題です。
- ▼ほらぐちさんは、働く人の立場に立って戦争反対を闘える唯一の議員です。児童館なくすな！非正規職撤廃！でこれからも頑張ってください。

（区内の児童館で働く職員）

マイナ保険証は中止！保険証廃止をとめよう

戦争のための社会保障切り捨て反対 公的医療を守ろう！

- マイナンバー保険証は国民皆保険制度を解体し、「命の選別」を進めるもの。また、徴税、徴用・徴兵に直結します。来秋の「保険証廃止」をやめさせよう。廃止すべきはマイナカードです。
- 公的医療を壊す都立病院の独立行政法人化に反対します。

- ▼コロナ5類移行で公的責任が放棄されたら、お金がない人は医療が受けられない現実が直面します。岸田首相は「コロナ対策費に決算剰余金が生じれば防衛財源に活用する」と公言しました。戦争のために社会保障を切り捨てるなんて絶対に反対です。
- ▼ほらぐち区議はこの問題と真っ向から闘い、「杉並から戦争を止めよう」と呼びかけています。

介護施設看護師 新井佳世子（西荻在住）



- ▼成田市三里塚の市東孝雄さんの農地が強制収用されました。成田空港を軍事使用するために。しかし杉並の産直総会で市東さんは、「国のひどさを改めて知った。営農を再建して次に進む。安全で美味しい野菜を作り続ける」と語りました。ほらぐちともこは三里塚や沖縄とともに闘います。



反戦・反原発、民営化反対を貫いてきた4年間

ほらぐちともことともに行動しよう！

すべての再開発計画の撤回を

大資本のための地域破壊を許さない

- 住民の生活やコミュニティを破壊する再開発に、杉並各地で反対の声が上がっています。岸本区長は、前区政への怒り、地域破壊の再開発への怒りに応えるべきです。

- ▼阿佐ヶ谷では、駅北口再開発が田中前区長と民間の癒着で強引に進められている。『屋敷林を伐採して病院を新築、病院跡地に学校を移転。一等地の小学校跡地を商業ビルに』。区民の財産を合意もなく民間に売り渡す！誰が得するのか？
- ▼ほらぐち議員とともに議会の内外で白紙撤回の声を上げ続けてきた。なんとしても阻止したい。

茅原まり（阿佐ヶ谷在住）



貧困と生活破壊を許さない

「光熱費が2倍になって生活できない」

- 「光熱費2倍で生活できない」と悲鳴があがっています。失業と社会保障削減、困窮と孤立の中で、中高年男性、失業者や年金生活者を中心に自殺者が増加しています。連合など、政府・資本にすり寄る労働組合の現状が問題です。闘う労働組合を一緒につくりましょう。

- 年金支給額の引き下げで、働かないと生きていけない。
- （70代 男性）●生活がこんな大変なのに、大軍拡なんて許せない。応援します。
- （60代 女性）●5月の広島G7サミットのために、コロナを2類から5類に引き下げるのか？ ふざけるな。
- （60代 男性）●ほらぐちさんは、4年前の選挙のとき、選挙権がなかった自分たち高校生にもピラをくれた。そういう本物の政治家を当選させるために応援します。（男子大学生）

